

西村房子氏文書(2)概要

1:文書群番号	098102
2:文書群名	西村房子氏文書(2)
3:出所	西村房子家
4:家業・役職等	近世：古手古道具屋 近代：質屋／学務委員ほか
5:地名	撰津国川辺郡尼崎別所町／兵庫県川辺郡尼崎町ノ内尼崎町／尼崎市東本町
6:行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼崎町／尼崎市
7:歴史	別所町は尼崎城下8町のうちの1町。西村氏は同地で古手古道具屋を営んだ(屋号は網屋)。明治以降は質屋を経営しながら、別所町維持会の町惣代・学務委員などをつとめ、別所町の町政・教育方面に深く関わった。
8:伝来	平成11年(1999)3月に西村房子氏文書(1)の追加分として受け入れた。翌年1月に整理・目録作成を完了。同15年5月に宮川氏より寄託。
9:史料入手先	宮川慶子氏(原蔵者子息)
10:点数	1092点(目録件数416件)、うち1点(1件)は原蔵者保管
11:年代	享保12年(1727)～昭和41年(1966)
12:構造と内容	本文書群は近世文書は35点のみ(主に土地・貢租)。ほかは近代文書で、明治期のものが大多数を占める。特に明治20年代、西村彦平氏が学務委員を勤めた関係で学校関係の文書が多数あり、教職員採用、児童数等の調査、尼崎尋常小学校分教場の新築など内容が豊富である。また衛生組合関係(規約・通達等)、尼崎港防波堤修築関係の文書も数点あり、地域や町政との関わりをよく示している。西村家については、質屋業(諸法令、帳簿・証書類)や家族・親戚との書簡が多いのが特徴的である。
13:関連史料	西村房子氏文書(1)
14:閲覧条件	原本
15:作成者	松迫寿代